

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から5年を迎え、その記憶も薄れつつあります。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人々が共有し続けなければなりません。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきました。地域に新たなアートを定着させ、アーティストとともに被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきました。本展は、静岡市で地域に根差したアートプロジェクトを実施している静岡大学アートマネジメント力育成事業実施委員会との共催により開催いたします。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトで生まれた作品を通して、震災と原発事故と文化・芸術と地域について、静岡のみなさんと共有できる機会を設けることができました。どの作品も、2011年以降の福島を伝え、ともに考えようと語りかけています。ぜひご覧ください。

【トークセッション】参加費無料／申込不要

福島×アート×静岡

日時：1月10日(日)14:00～16:30 会場：金座ポタニカ2F カフェ

出演

乾久子

アーティスト／
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト参加作家

白井嘉尚

静岡大学教授

中山晴奈

フードデザイナー／
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト参加作家

赤坂憲雄

福島県立博物館長／
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会委員長

会期／2016年1月9日(土)⇒1月22日(金)

*1月11日(月・祝)、12日(火)、18日(月)、19日(火)は休廊

観覧時間／13:00～19:00 (1月22日は13:00～17:00)

会場／金座ポタニカ3F、4Fアートスペース (静岡県静岡市葵区研屋町25)

主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

共催：静岡大学アートマネジメント力育成事業実施委員会

協力：金座ポタニカ

入場無料

Fukushima × Shizuoka

岡部昌生フロッタージュプロジェクト 漂着したテトラポットに附着したフジツボの死骸
(南相馬市小高区井田川 2013年3月22日)

平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2015

文化庁



はま ▲ なか ▲ あいづ
文化連携プロジェクト

福島県の記憶と記録 フロッタージュ作品



フロッタージュは物に紙を当て鉛筆などで凹凸をこすりだす技法。美術表現を通して震災と原発事故の記憶をとどめた岡部昌生氏のフロッタージュ作品。

制作: 岡部昌生(美術家) 制作年: 2012~2015年

写真/ 岡部昌生フロッタージュプロジェクト 木の記憶 切り倒された綿津見神社の大杉



sacrifice 写真作品

南相馬市に滞りながら津波被害、原発事故被害の影響を植物の姿を通して問いかける写真作品を制作。土地の歴史を物語る資料を花器とし南相馬の文化の豊かさも伝える。

制作: 片桐功敦(華道家)

制作年: 2013~2014年

写真/ sacrifice 花: 向日葵 鹿島区で採取
器: 縄文式土器小高区浦尻貝塚出土

distance 写真作品



福島県内各地で津波被害、原発事故被害の影響を自然の姿を通して問いかける写真作品を制作。

制作: 赤坂友昭(写真家)

制作年: 2014年

写真/ distance
群生する絶滅危惧種ミズアオイ 鹿島区 0.19μsv/h

水源域・福島 写真作品

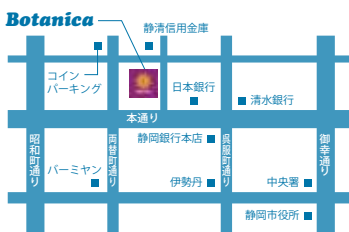


福島を代表する河川の水源地をたどり写真作品を制作。福島の美しい自然の象徴である水源域の光景が、福島の今を想起させる。

制作: 本郷毅史(写真家)

制作年: 2014~2015年

写真/ 水源域・福島
阿武隈川源流部



■会場のお問合せ
金座ボタニカ
〒420-0029 静岡県静岡市葵区研屋町25
mail: info@kinza-botanica.com

はま・なか・あいつ文化連携プロジェクトとは…福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいつ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2015年度は、8つのプロジェクトを実施。詳しくはこちら → hamanakaaizu.jp

アートで伝える考える 福島の今、未来【静岡】

福島祝いの膳プロジェクト ミクストメディア

福島の食文化リサーチに基づき、福島の自然や食の豊かさ、抱える課題に向き合ったアートプロジェクトの成果作品。

企画・制作: 中山晴奈(フードデザイナー)

制作年: 2014年

絵/ 福島祝いの膳プロジェクト



飯館中学校のふるさと学習 飯館村飯樋町の田植え踊り

写真作品



写真/ 飯館中学校ふるさと学習 飯館村飯樋町の田植え踊り

写真家の小野良昌が、全村避難中の飯館中学校生徒が取り組む田植え踊り学習の取り組みを撮影。飯館村の文化・歴史の豊かさ、生徒たちの成長の姿、村人の思いなどを伝える作品。

撮影: 小野良昌(写真家) 制作年: 2013年

豊間ことばの学校 好間土曜学校

造形作品



津波被害、避難者受け入れによる課題を抱えるいわき市内の小学校で実施した美術家を講師とした造形ワークショップの参加児童による成果作品。

企画・講師: 乾久子(美術家)、千葉清藍(書家)等 制作年: 2014~2015年

写真上/ 豊間ことばの学校 くじびきドローイングワークショップ
制作: いわき市立豊間小学校の児童たち、講師: 乾久子(美術家)

写真下/ 好間土曜学校 いわきの水と墨で福島の紙にもようをつけよう!ワークショップ
制作: いわき市立好間第一小学校の児童たち、講師: 千葉清藍(書家)

■事業のお問合せ

はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト実行委員会事務局
〒965-0807 会津若松市城東町1-25 (福島県立博物館内)
TEL: 0242-28-6067 (事務局直通) もしくは TEL: 0242-28-6000 (福島県立博物館代表)
FAX: 0242-28-5986 (福島県立博物館内) *毎週月曜日、祝日の翌日は休業